

安全データシート

Grade Anti-Seize

Page 1 of 6

SDS No. : 153790

V001.3

改訂: 16. 11. 2015

発行日: 02. 08. 2016

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード: 135543

LOCTITE LB 771 NICKLE GRADE ANTI-SEIZE known as Nickel

製品名: LOCTITE LB 771 NICKLE GRADE ANTI-SEIZE known as Nickel Grade Anti-Seize

会社名:

ヘンケルジャパン株式会社 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲 14F

140-0002

電話番号: +81 (45) 758-1820 FAX番号: +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

<u>危険有害性クラス</u> <u>危険有害性区分</u> 標的臓器

 皮膚感作性
 区分 1

 発がん性
 区分 2

特定標的臓器毒性 - 反復暴 区分1 全身毒性

露

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語: 危険

Page 2 of 6

SDS No.: 153790

LOCTITE LB 771 NICKLE GRADE ANTI-SEIZE known as V001.3

Nickel Grade Anti-Seize

危険有害性情報: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H351 発がんのおそれの疑い

H372 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害。

安全対策 P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

> P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後はよく手を洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P302+P352皮膚に付着した場合:多量の水と石けんで洗うこと。 応急措置:

P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けるこ

٥ع

P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管: P405 施錠して保管すること。

廃棄: P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄

施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品·混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
鉱油	>= 50 - < 60 %
ニッケル	14.0%
黒鉛	>= 1 - < 10 %
石油スルホン酸ナトリウム	>= 1 - < 10 %
水添ひまし油	>= 1 - <= 10 %
アルミニウム	>= 1 - <= 10 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合: 流水とせっけんでよく洗い流すこと。

医師の診察を受けること。

眼に入った場合: 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。

Page 3 of 6

SDS No.: 153790

V001.3

LOCTITE LB 771 NICKLE GRADE ANTI-SEIZE known as

Nickel Grade Anti-Seize

口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。 飲み込んだ場合:

医師の診察を受けること。

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診 吸入した場合:

察を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤: 泡、粉末消火剤、二酸化炭素

細かな霧状の水スプレー

使ってはならない消火剤: 不明

火災時の分解物質: 炭素酸化物

保護具: 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 皮膚および眼への接触を避けること。

十分な換気を保つこと。

環境に対する注意事項 下水管に流さないこと。

除去方法: 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。

大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉でき

る容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 適切な換気装置下で使用すること。

皮膚や衣服に付けないこと。

ガス/ヒューム/蒸気/スプレーを吸入しないこと

取扱い後は十分に洗うこと。

保管:

涼しく、乾燥した場所に保管すること。 容器をしっかり密封しておくこと。 点火源に近づけないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
鉱油	3 mg/m3TWA	5 mg/m3 TWA
		10 mg/m3 TWA

Page 4 of 6

SDS No.: 153790

V001.3

LOCTITE LB 771 NICKLE GRADE ANTI-SEIZE known as

Nickel Grade Anti-Seize

		5 mg/m3 TWA
ニッケル	1 mg/m3TWA	1.5 mg/m3 TWA
黒鉛	0.5 mg/m3TWA	2 mg/m3 TWA
	2 mg/m3TWA	

保護具:

呼吸用保護具: 蒸気および煙を吸入しないこと。 換気の良い場所でのみ使用すること。

眼の保護具: 保護眼鏡を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

ペースト 形状: 色: グレー、銀 石油、特徴的 臭い: 該当なし pH: データ無し 融点/凝固点:

> 93 ° C (> 199.4 ° F) 引火点:

自然発火温度: データ無し < 6.0000000 hPa 蒸気圧:

蒸気密度: データ無し 比重: 1.1

n-オクタノール/水分配係数: データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性:

化学的反応性: 強酸化剤

混触危険物質: 適切に使用した場合特になし。

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。

避けるべき条件 通常の使用、保管条件では安定。

危険有害な分解生成物: 炭素酸化物

Page 5 of 6

SDS No.: 153790

V001.3

LOCTITE LB 771 NICKLE GRADE ANTI-SEIZE known as

Nickel Grade Anti-Seize

11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
鉱油	分類の必要なし			
ニッケル	皮膚感作性	区分1		
	発がん性	区分2		
	特定標的臓器毒性 - 反復暴露	区分1		
黒鉛	分類の必要なし			
石油スルホン酸ナトリウム	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
水添ひまし油	分類の必要なし			
アルミニウム	分類の必要なし			

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

12. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
ニッケル	水生環境有害性(長期間)	区分3

一般環境有害性情報: 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認 汚染容器包装の廃棄方法::

> された埋め地に処理するか焼却する。 廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

14. 輸送上の注意

一般情報

RID, ADR, ADN, IMDG, IATA-DGR において危険品ではない。

15. 適用法令

労安法:

名称等を通知すべき有害物 鉱油 ニッケル

Page 6 of 6

SDS No.: 153790

V001.3

LOCTITE LB 771 NICKLE GRADE ANTI-SEIZE known as

Nickel Grade Anti-Seize

消防法

第4類引火性液体,第三石油類

毒劇物法: 該当しない

PRTR 法:

第1種指定化学物質 ニッケル 政令番号 308

16. その他の情報

発行日: 02.08.2016

問い合わせ先: 近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意:: この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものであ

る。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではな

L1°

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいか

なる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び 規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-

1771